

設置要領書

Memosens COL37E 用キット

溶存酸素センサ COL37E 用



目次

1 Memosens COL37E の概要 3

2 指定用途 3

3 許可を得た取付作業員 4

4 納入範囲 5

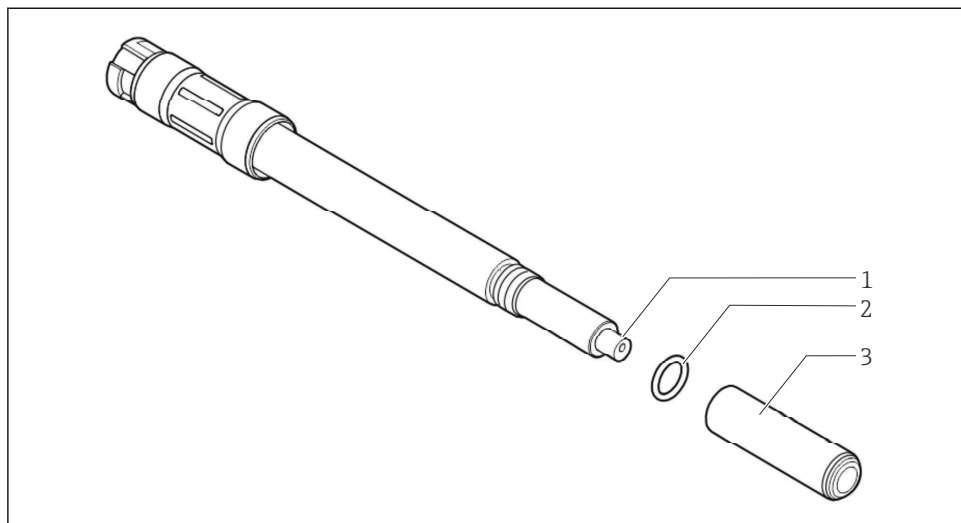
5 関連資料 5

6 スペアパーツの交換 6

7 校正の実施 9

8 廃棄 11

1 Memosens COL37E の概要



A0048111

1 Memosens COL37E の概要

- 1 温度センサに付いている光ファイバー
- 2 Oリング
- 3 センサキャップ

2 指定用途

- キットの部品は、COL37E センサの改造部品または交換部品としてのみ使用してください。それ以外の用途は許容されません。
- Endress+Hauser 製の純正スペアパーツのみを使用してください。
- W@M デバイスビューワーで、スペアパーツが既存の機器に適合することを確認してください。

3 許可を得た取付作業員

- 計測システムの据付け、試運転、運転、およびメンテナンスは、特別な訓練を受けた技術者のみが行うようにしてください。
- 技術者は特定の作業を実施する許可をプラント管理者から受けなければなりません。
- 電気接続は電気技師のみが行えます。
- 技術者はこれらの設置要領書を読んで理解し、その内容に従う必要があります。
- 測定点のエラー対応は、特別な訓練を受け、許可された作業員が行ってください。



提供される取扱説明書に記載されていない修理はメーカーまたは契約サービス会社のみが行えます。

4 納入範囲

4.1 COL37E キット

キットには、以下の部品が含まれています→  2,  5。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 x センサキャップ | 1 x 校正液ボトル |
| 1 x Oリング | 1 x 製造者証明書 |
| 1 x Oリング取付ツール | 1 x 説明書 |
| 1 x 清掃用クロス | |



A0048113

 2 COL37E キット

5 関連資料

機器に関する詳細情報は、下記より入手可能なセンサの取扱説明書とその他の関連資料に記載されています。

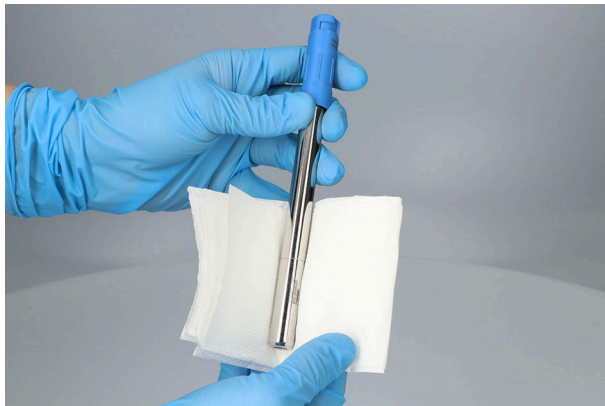
- www.endress.com/device-viewer
- スマートフォン/タブレット端末：Endress+Hauser Operations アプリ

6 スペアパーツの交換

▶ Oリングが損傷している場合は、すぐに交換してください。

Oリングの交換

1. Oリングを交換する前に、センサを清掃します。そのためには、汚れの種類に適した洗剤剤を使用してください。



A0048114

2. センサキャップを回して取り外します。



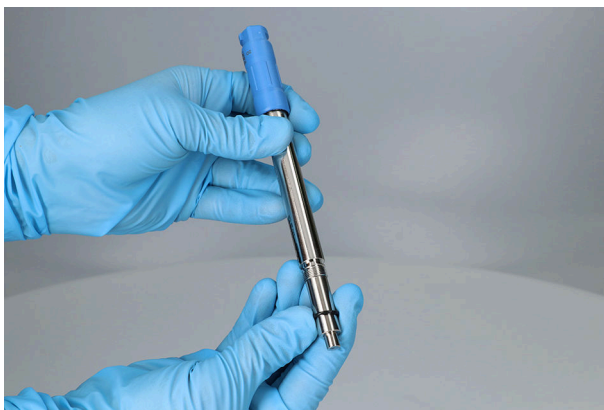
A0048115

注記**温度センサに付いている光ファイバーの物理的な清掃による材料損傷**

研磨やひっかきにより、センサの機能障害または完全な故障が発生する可能性があります。

▶ 温度センサに付いている光ファイバーは、湿らせた布で軽く叩いて清掃してください。

3. センサから O リングを慎重に取り外します。このとき、センサを損傷しないように、先の尖ったものを使用しないでください。



A0048116

4. センサ光学部に O リング取付ツールを取り付けます。



A0048117

5. O リング取付ツールの上から O リングをシャフトスリーブの終端位置までスライドさせます。



A0048121

6. Oリング取付ツールを外して、センサキャップを取り付けます。

センサキャップの交換

1. 新しいセンサキャップを目視で確認します。
新しいセンサキャップを光にかざします。
↳ 緑色の均一な蛍光層のみがセンサキャップの内側に見えなければなりません。
2. 既存のセンサキャップを回して取り外します。

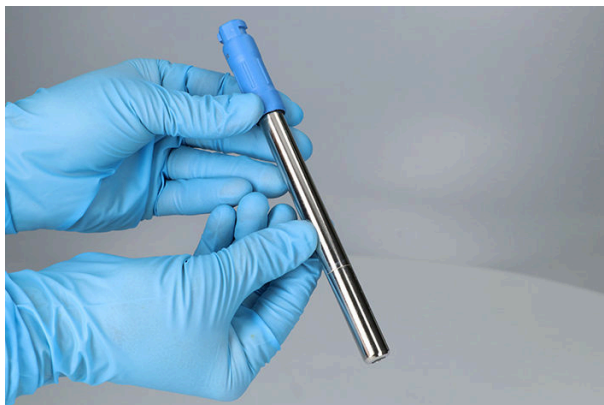


A0048115



推奨：センサキャップを交換する場合は必ずOリングも交換してください。

3. 新しいセンサキャップを止まるところまでセンサシャフトにねじ込み、キャップとセンサシャフトの間に隙間が見えないようにします。



A0048120

4. SmartBlue アプリで **Cap Change (キャップ交換)** プロセスを実行します。これは、次のメニューパスに含まれています。Guidance → Calibration → Change sensor cap
 ↳ これでセンサは再び使用可能な状態になります。

i キャップを交換する場合は、必ずゼロ点校正と酸素中での校正を行ってください。キャップを交換せずにメンテナンスを行う場合は、センサを空気中で確認します。機器を直接使用して、Guidance (ガイド) メニューで校正することが可能です。SmartBlue アプリで Guidance → Calibration メニュー項目から校正を実行することもできます。使用する計測機器の取扱説明書に注意してください。

7 校正の実施

i 校正中は直射日光や風を避けてください。

ゼロ点校正の実施

1. COY8 ゼロ点ゲルのボトルを開き、センサをゲルで覆い、気泡がないことを確認します。そして、センサをボトルに入れます。
2. センサが安定した測定値を表示するまで待ちます。
3. CML18 ハンドヘルド機器または SmartBlue アプリを使用して校正を開始し、調整のために値を保存します。

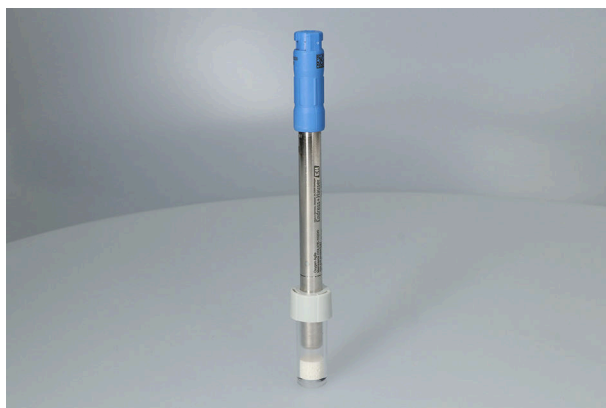
酸素中での校正の実施

1. 校正液ボトル内でスポンジを湿らせます。



A0048660

2. その後、スポンジが入っている校正液ボトルをセンサに取り付けます。



A0048661

3. CML18 ハンドヘルド機器または SmartBlue アプリを使用して校正を開始します。

詳細については、技術仕様書 TI01244C および取扱説明書 BA02002C を参照してください (www.endress.com のダウンロードエリアに掲載)。

8 廃棄

8.1 センサ



電子・電気機器廃棄物 (WEEE) に関する指令 2012/19/EU により必要とされる場合、分別されていない一般廃棄物として処理する WEEE を最小限に抑えるため、製品には絵文字シンボルが付いています。このマークが付いている製品は、分別しない一般ゴミとしては廃棄しないでください。代わりに、適切な条件下で廃棄するために **Endress+Hauser** へご返送ください。



71600033

www.addresses.endress.com
